

28 阿地第 36 号  
平成 28 年 7 月 12 日

長野県建設部  
リニア整備推進局長  
水間 武樹 様

阿智村リニア対策委員会  
会長 稲垣 孝光

リニア中央新幹線整備に関する質問書について（お願い）

阿智村では、村・議会から東海旅客鉄道株式会社（以下、JR 東海という）と長野県（以下、県という）に対して、平成 25 年 11 月 1 日、平成 26 年 1 月 9 日、平成 26 年 7 月 8 日に提出された意見書・要望書をふまえ、リニア中央新幹線建設工事（以下、リニア工事という）によって発生する住民の生活環境や経済・観光に及ぼす影響について、社会環境アセスメントを実施しました。

阿智村リニア対策委員会は、「リニア工事に伴う環境の整備、保全及び適正な土地の利用を図るために必要な調査、審議及び対処する」村の諮問機関です。リニア工事を受け入れるか否かを判断する機関ではありません。

今回、当委員会は、村・議会の意見書・要望書、平成 27 年 9 月 28 日、12 月 15 日に行われたリニア学習会での JR 東海の回答、社会環境アセスメント委員会の提言を受け、リニア工事による住民の不安や要望の解決の糸口を探るとともに、JR 東海と阿智村のリニア工事に関する環境保全等の協定の締結に向けて、県の見解について質問書を提出するものです。

お手数とは存じますが、これもリニア中央新幹線の推進に必要なことと考えますので、文書にてご回答をいただきたくお願い申し上げます。

（質問）

- ①「住民の理解や合意」は事業者、説明者である JR 東海ではなく「事業の影響が予測される説明を受ける住民の認識・判断によるもの」と我々は理解しているが県の見解をお示し下さい。
- ②現在までの阿智村や議会、住民の要望に対しての JR 東海の説明や住民との協議状況、住民の認識状況では、発表されている事業の工期スケジュールより実際の工事開始は遅延されると思われます。阿智村住民は「地元住民の理解、合意ができなければ JR 東海は工事着工しない」と思っていますが、県としての見解をお示し下さい。

- ③萩の平斜坑口までの道路は村道であり道路管理者は阿智村である。国家的事業ということで政府は財政投融资の活用を示した。  
国家的事業なら自治体が住民の不安解消のための調査研究費やリニア関連整備費に対して何らかの支援策があつてよいと思うが県の見解をお示し下さい。
- ④南木曾の発生土の村内置き場、発生土運搬車輛の村内通行について村長は「受け入れ難い」と表明され、村議会リニア特別委員会、リニア対策委員会も同調することを確認しています。県の見解をお示し下さい。
- ⑤飛翔調査をしている横川峠は活断層である清内路峠断層が通っており、脆弱な地盤であることが地元地質学博士の調査によって判明しています。また、過去に大規模な地滑りを起こしている地帯でもあります。地理的にも産業振興に生かすことは考えにくい場所ですが、県の見解をお示し下さい。
- ⑥リニア工事の本線に関わる用地交渉は県が担当することになっているが、その他の用地についてはどこが担当されるのか、阿智村の対象用地についてお示し下さい。
- ⑦県は中央道座光寺スマートICとリニア駅を結ぶアクセス道路として整備する座光寺上郷道路などリニア関連道路の予定箇所を公表されたようだが、阿智村関係があればお示し下さい。
- ⑧リニア工事付近に中部電力が水力発電所の建設を発表した。工事箇所、時期が重なることから沿線の住民に対する更なる影響が心配されるが、助言があればお示し下さい。
- ⑨リニア工事関係について阿智村の今日までの経過についてアドバイスがあればお示し下さい。